

# 「この問題、おもしろそうだ！」の気持ちを育む

～令和元年度(平成31年度)全国学力・学習状況調査の結果より～

4月18日、6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、先日、文部科学省より公表されました。本校では、実施後すぐに全職員で解答を採点しています。大切なのは結果ではなく、「どの子にどのような学力が必要か」を教師自ら把握し、日ごろの授業に役立てるためです。児童一人ひとりの解答用紙を見ると、国語・算数とも無回答がとても少なく、どの児童も、最後までねばり強く解いていたことが分かりました。



特に、新町小の子どもたちは、問題形式の中でも解くのが難しいとされる「記述式」の無回答がほとんどありませんでした。子どもたちの「この問題は、おもしろそうだ！」「なんとかしてこの問題を解いてやるぞ！」という気持ち、日ごろの学習に対する前向きな姿勢が、学力の向上につながっているのだと思います。それを裏づける結果も、下記のとおり出ています。

## ◇◇調査結果◇◇

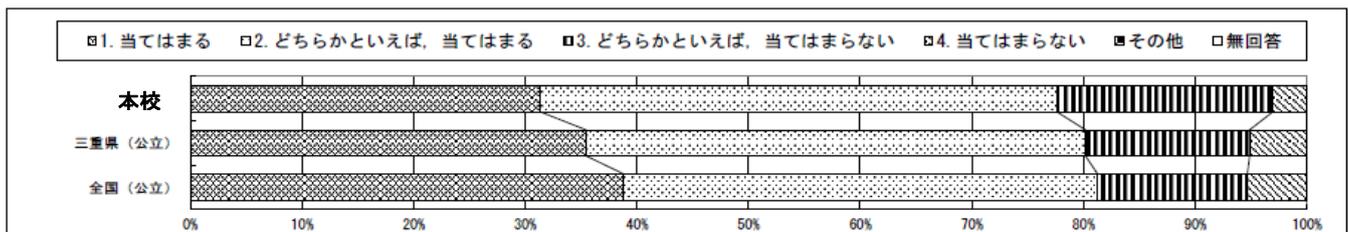
全体正答率	国語	算数
本校 (全国との差)	74.0 (+10.2)	73.0 (+6.4)
津市	64.0	66.6
三重県	64.2	66.7
全国	63.8	66.6

記述式正答率	国語	算数
本校 (全国との差)	73.6 (+16.0)	53.7 (+6.3)
津市		
三重県	59.1	45.9
全国	57.6	47.4

本校では、三重県教育委員会が編集した「まなびばセット」の問題を活用しています。特に5年生の2学期から金曜日の宿題として取り組んでおり、翌週の月曜日に、担任が解き方について解説を加えながら、クラスで答え合わせをしています。問題の中には、記述式の難問も入っていますが、分からない時には、お家の方にもご協力いただきながら、いろいろな問題に挑戦しています。

これらの問題は、来年度から実施する新学習指導要領を踏まえた「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」にもつながる良い学習教材だと考えています。今学期も同じような取組を進めていく予定です。

## ～「自分には、よいところがあると思いますか？」(児童質問紙より)～



しかし、上記の質問では、全国より低い結果が出ています。新町小の子どもたちは、当然一人ひとりに良いところがあります。学校でも、ご家庭でも日頃から機会を見つけて、子どもたちを褒めたり、励ましたりしながら、子どもに寄り添い、「自分が好き！」と言える子になってほしいと願います。